

安藤風馬のイサカ滞在記(1)

～中間報告～

僕は、現在、学振の海外挑戦プログラムによって3ヶ月間のコーネル大学の留学に来ています。学会などで1週間程度のアメリカ滞在経験はありましたが、長期間の滞在はこれが初めてです。特に英語が苦手な自分の話を見ていただくと幸いです。

〈失敗した話〉

アメリカについてからは問題ばかりでした。NY州でアジア人も多く来るからなのか、現地の人でも簡単な英語で話してくれます。ただ、ネイティブな人は話すスピードが速い。速すぎて聞き取れない。かすかに聞こえる単語と周りの状況で判断していました。過ごしていくと相手の言いたいことが分かるようになります。そして更なる問題が、単語が話せない。相手の言うことは分かるでも自分の言いたい言葉が出てこない。Google翻訳を使うと時間がかかって話が終わっている。次の問題は発音でした。雑談中「日本で地震があった」と言おうとして「earthquake」と言ったら「last week」と聞き間違われてしまった。何一ッ！という気持ちとものすごく恥ずかしい気持ちとなりました。

生活面においては、家の周りにはほぼ何もないので、一度、料理に挑戦しましたが、ただ茶色い何かが出来上がってしまい、とことん自分の料理能力の無さに落胆いたしました。今では、ほとんどがレンジで何とかできるもので飢えをしのいでいる状態です。さすがアメリカ、レンジがあれば何でもできる。

アメリカは祝日が少なく10日程しかありません。その中でも盛り上がるのが7月4日の独立記念日です。ただ、日本人の僕がそんなこと知る由もなく普通に研究室に来て、ガッツリ実験していました。忘れ物を取りに来た研究室メンバーから「なぜ実験をしているんだ。今日は休日だぞ」と言われるまで気づきませんでした。どおりで研究室に人がいないわけだ...

〈感動した話〉

感動とは別ですが、こちらで食べたかつ丼がとてもおいしかったです。中華、タイ、日本食など様々なタイプの飲食店がある中で、このかつ丼はなかなかの再現度であると感じました。味付けはアメリカ仕様で濃いめの味付けでしたが、しっかりとダシの味も感じられる絶品です。コーネル大学へ行くことがあれば是非。あ～早く日本で寿司食いたい。



日本で猛暑のニュースを見るたびに、まあこっちは夜とか 14℃くらいだし。そっちは暑くて大変ね。といった謎の優越感に浸れます。以上が今回の海外留学のほんの一部です。たぶん僕だからこれだけ苦勞するというだけの話ですので、ほかの人は心配なく留学できると思います。成長できているかは疑問ですが、とりあえず生きて帰ることを目標に残りの期間を頑張っていきたいと思います。

2019年8月2日 安藤風馬